

令和8年度 いしこし郷土史講座

あなたも“いしこし”の歴史を学んでみませんか！ 受講料無料

日程・内容

※都合により日程・内容等が変更になる場合もあります。

回	開催日時	講座内容	講師
1	11月10日(火) 9:00～16:20	【移動研修】「水沢の三偉人を訪ねて」(高野長英、後藤新平、斎藤實の各記念館等)	各記念館の学芸員
2	12月1日(火) 13:30～15:00	「字名と屋敷名をたどって①」	石越の昔を語る会 小野寺 和伸氏
3	R9.1月19日(火) 13:30～15:00	「東家の美術 - 東元方・東東洋 - 」	郷土史愛好家 高橋 紘氏
4	2月2日(火) 13:30～15:00	「石越の神社・仏閣」	石越郷土史研究会 二階堂 悟氏
5	2月16日(火) 13:30～15:00	「創立80周年を迎える石越中学校の歩み」	石越郷土史研究会 二階堂 悟氏

○受講申込

11月2日(月)までに石越コミュニティ運営協議会事務局(石越公民館内)へ下記申込書を持参するか、下記の項目を電話(34-2036)又は mail: ishikomi35@aj.wakwak.com、LINE、FAX(34-3193)で申し込みください。

○定員40名程度とします。ただし、第1回「移動研修」(11月10日(火))のみバス移動ですので、定員30名(定員を超えた場合は抽選)とします。

申込書には「第1回移動研修」への参加・不参加の記入をお願いします。また、記念館の入場料は、3館で300円(団体料金)となりますが、参加者が14名以下の場合は600円となります。
参加費(含む昼食代)は当日受付で徴収します。(※詳細は、裏面をご覧ください。)

主催:石越コミュニティ運営協議会

----- キリトリセン -----

令和8年度 いしこし郷土史講座 受講申込書

氏名				性別	男・女
住所	郷字	行政区		電話番号	
第1回 移動研修 (11月10日開催)	(参加・不参加)			☐ 参加の場合の「昼食」は ※いずれかに○を Aコース … ミニ天井セット(1,200円:税込) Bコース … 天せいろそば(1,750円:税込)	

※この住所・氏名などの個人情報は、講座の連絡用のために利用します。目的外に利用することはありません。

令和8年度 いしこし郷土史講座『移動研修』のお知らせ

石越が生んだ江戸時代の傑士「金 忠輔」の碑が高森公園にあります。その篆額（石碑などの上部に篆文で書いた題字）を書いたのが、水沢出身の「後藤新平」（医師、内相等、東京市長：関東大震災後の東京復興計画を立案）です。

今回、「後藤新平」をはじめ『水沢の三偉人』と呼ばれる「高野長英」（医師、蘭学者：後藤新平の大叔父）、「斎藤 實」（第30代内閣総理大臣：後藤新平の一歳下）の記念館を巡る『移動研修』を行います。参加希望の方は、表面申込書「移動研修」欄の参加に○を記入してください。移動研修はバス移動となりますので、11月10日(火)の『移動研修』のみ定員30名（定員を超えた場合は抽選）とします。

記

- 1 日 時 令和8年11月10日（火）午前9時00分～午後4時20分
- 2 研修先 「奥州市立後藤新平記念館」・「奥州市武家住宅資料館」
「奥州市立斎藤實記念館」・「奥州市立高野長英記念館」
- 3 日 程 8:50 受付（石越公民館脇駐車場） 9:00 出発
（東北自動車道「若柳・金成IC」→「水沢IC」）
10:00 『奥州市立後藤新平記念館』見学
11:20 『奥州市武家住宅資料館』見学
※秋の企画展「家臣録から先祖をたどる」
12:10 旬彩そば酒房「嵯山」（昼食）
13:00 『奥州市立斎藤實記念館』見学
※ミニ企画展「記念館押しのイッピン2」
14:00 『奥州市立高野長英記念館』見学
※企画展「民のために生涯を捧げた男たち」
- 寿庵と長英、それぞれの道 - ※後藤 寿庵
15:15 東北自動車道「前沢サービスエリア」（休憩）
16:20 石越公民館着（※交通事情等により変更の場合あり）
- 4 参加費 Aコース 1,500円（3記念館団体入場料・昼食「ミニ天井セット」）
Bコース 2,050円（3記念館団体入場料・昼食「天せいろそば」）
※当日徴収します。（釣銭のないようにお願いいたします）
※参加者が14名以下の場合は、3記念館入場料が600円となり、参加費は、+300円となることをご了承ください。

後藤新平は、医師、行政官、政治家、社会啓蒙家などとして広く活躍した人物です。記念館では、遺族や東京市政調査会から寄贈された貴重な資料を時代順に分かり易く展示し、生涯と業績を紹介しています。

文治政策を掲げた政治家である斎藤實は、海軍に入隊後、海軍大将にまで昇格、海軍大臣を務めました。内閣総理大臣の後に内大臣となりましたが、昭和11年2.26事件の凶弾に倒れました。記念館では2.26事件の際に銃弾を受けた鏡台のほか、春子夫人から寄贈された貴重な資料を展示しています。

医師・蘭学者である高野長英は、日本最初の生理学書「医原枢要」や「二物考」、「夢物語」などの著述も多く、記念館では、訳書、著書、手紙及び遺品など約330点を収蔵しています。その中には長英が獄中で書いた「獄中角筆詩文」や「砲家必読」全11巻などの貴重な資料も所蔵されています。

（各記念館ホームページ等より抜粋）